

令和6年度 **MANABU!旅 実施要項**
いろいろな乗り物を見る！知る！楽しむ！旅

1 趣 旨

現職会員とその家族を対象に、空、陸、水それぞれの乗り物について体験し知識を身につけ楽しく学ぶ機会を提供する。

2 主 催

一般財団法人北海道公立学校教職員互助会

3 開催期日

令和6年8月5日(月)～8月7日(水)

4 実施場所及び宿泊施設

実施場所： 小樽市、苫小牧市、千歳市、札幌市

宿泊施設： 1日目(8月5日) ホテルノルド小樽

住所： 小樽市色内1丁目4番16号

電話： 0134-24-0500

2日目(8月6日) エアターミナルホテル

住所： 千歳市美々新千歳空港ターミナルビル内3階

電話： 0123-45-6677

5 日程及び実施内容

別紙のとおり

6 募集人員

35名 (最小催行人員 10名)

7 参加対象者及び参加費用 お1人様(基本2名1室利用)

バス代・宿泊費・食事(朝食2回、昼食3回)・入館料・体験料・国内旅行傷害保険料等が含まれています。

参加対象者	参加費用	
	2名1室	3名1室※1
現職会員とその被扶養者(中学生以上)	29,000円	27,500円
現職会員の被扶養者(小学生)	24,000円	22,500円
現職会員の被扶養者に認定されていない配偶者・子(中学生以上)	36,000円	34,500円
現職会員の被扶養者に認定されていない子(小学生)	29,000円	27,500円

※)1名1室料金は、2名1室料金+22,000円となります。

相部屋のご設定はありません。

お部屋には限りがあり、ご希望に添えない場合もございます。

※1)3名様でお申し込みの方のみの適用となります。詳細は参加申込書裏面を参照してください。

8 申込方法

業務委託先あて別添「参加申込書」を提出

(1) 申込受付期間

令和6年4月26日(金)～5月31日(金)

申込受付期間内において、募集人員を超えて申込みがあった場合は、当会規定に基づき抽選で参加者を決定します。

なお、募集人員に満たない場合は6月14日(金)まで延長し、募集人員に達するまで受け付けます。

参加申込人数が10名に満たない場合は、本事業を中止します。

(2) 申込書提出先(業務委託先)

株式会社北海道教育互助センター

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目2番地 損保ジャパン札幌ビル5階

電話(011)281-0037 FAX(011)281-4797

9 その他

(1) 参加決定者及び抽選に漏れた方については別途通知します。

(2) 悪天候等により行程等をやむを得ず変更する場合があります。

また、代替サービスの宿泊費等、追加料金が発生する場合があります。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い催行を中止する場合があります。中止の決定は6月末を予定していますが、その後も最新の情報に応じて判断をいたします。なお、中止となった場合は、申込者あて連絡し、納付済の参加費を全額返金致します。

令和6年度 MANABU!旅 日程及び実施内容

いろいろな乗り物を見る！知る！楽しむ！旅

1 日程

8月5日（月）		8月6日（火）		8月7日（水）	
9:45	JR札幌駅集合		朝食		朝食
10:00	貸切バスで小樽市へ移動	8:30	チェックアウト 貸切バスでホテル出発 札幌市へ移動	8:45	チェックアウト 貸切バスでホテル出発 移動
11:00	①小樽天狗山ロープウェイ	9:30	⑤丘珠空港見学 HAC北海道エアシステム 格納庫 空港内で使われている車両	9:00	⑧新千歳空港見学 JAL日本航空 整備機材庫の見学 オペレーションコントロール センターの見学
12:00	②新日本海フェリー 小樽港停泊船 船内見学 ※乗船ランチ		苫小牧市へ移動		札幌市へ移動
13:45	③小樽市総合博物館 蒸気機関車等を見学	11:45	昼食 グランドホテルニュー王子	11:30	⑨札幌市電貸切運行 電車事業所構内発着 乗車中は市電に係るご案内 車中で昼食
15:30	④小樽運河クルーズ 小樽運河中央橋～浅草橋	13:00	⑥トヨタ自動車北海道 構内見学・工場内見学 製品紹介・製造工程見学	13:00	貸切バスでJR札幌駅へ移動
17:00	ホテルノルド小樽着 夕食は各自	15:00	⑦苫小牧市科学センター 宇宙ステーション「ミール」 宇宙に関する展示等の見学		解散
		17:15	エアターミナルホテル着 夕食は各自		

*貸切バスは「レバンガ北海道」選手送迎バスを予定しています。（チーム事情により、一般車両になることがあります。）

2 実施内容

小樽市では天狗が棲んでいたとの言い伝えのある天狗山でロープウェイ、停泊中にフェリー、運河クルーズ、鉄道記念物見学と空水陸を感じる。丘珠空港、新千歳空港では空の乗り物、安全の取組などを学び、苫小牧では陸路に活躍の自動車について、宇宙について見学し学ぶ。札幌市では市電の貸切運行で市電と札幌市について学ぶ。

No	場 所	見 所 等
①	小樽天狗山ロープウェイ	山麓から山頂までを約4分で結ぶロープウェイ。 眼下には、小樽市街地をはじめ小樽港や石狩湾、快晴時には遠く暑寒別連峰や積丹半島が一望できる。
②	新日本海フェリー	各客室等のほか、航海中は立ち入ることができない車両甲板も見学する。
③	小樽市総合博物館	鉄道記念物の蒸気機関車「しづか号」の展示のほか、構内を「アイアンホース号」が走る。転車台などの屋外展示も楽しめる。
④	小樽運河クルーズ	歴史とロマンの街「小樽」の魅力を再発見できる新アクティビティ
⑤	丘珠空港	株式会社北海道エアシステム（HAC）の協力により「格納庫見学」 旅客輸送のみならず防災等の役割を担うことの紹介や、安全の取組などを学ぶ。
⑥	トヨタ自動車北海道	札幌ドーム18個分の103万㎡（約31万坪）の広大な敷地にあるオフィスと5つの工場での工程等。
⑦	苫小牧市科学センター	「ミール展示館」で宇宙ステーション、宇宙の様々について見学し学ぶ。
⑧	新千歳空港	日本航空の協力により、JAL国内線オフィス、整備器材庫等見学
⑨	札幌市電貸切運行	1960年から動いている車両だとか。札幌の歴史を知っている車両で1周電車事業所構内は記念撮影のスポットとなっている。